

科目責任者 岩井 智子、澤元 互、宗宮 朋子

授業担当者 A組：宗宮 朋子、B組：岩井 智子、C組：澤元 互

■教育目的（各クラス共通）

- 1年次に学んだドイツ語の基礎知識をもう一度確認しながら、さらに発展させるため、〈読む、書く、話す、聞く〉などの総合的な実践練習を積む。
- 基本文法を復習しながら、比較的やさしい読み物やニュース記事などを正しく読みとる力を養う。
- 最近のニュースに触れ、特に医療や健康に関わるグローバルな問題などに関心を持ち、ドイツなどヨーロッパの取り組みを考える。

■学習到達目標（各クラス共通）

1. 基本的な語彙を増やし、構文に習熟することで、ドイツ語での平易な会話表現ができるようになる。
2. 基本文法の知識を用いて比較的長い文の構造を理解し、テキストの内容を正しく読みとる力を養う。
3. ドイツ・ヨーロッパの政治、社会、医療のかかえる問題などにも関心を持つ。
4. 将来、医療の現場で、ドイツ発の情報を入手し役立てられるような語学力を身につける。

■授業内容

A組 宗宮 朋子

この授業では、これまで学んだ文法事項をふまえながら、ドイツ語で書かれた様々なテキスト（医薬関係、ドイツ文化紹介、時事ニュース、簡単な文学作品等）を読む練習をします。

全ての文法事項を一通り復習しながらテキストを読んでいけば、文章の様々なニュアンスを理解することが可能です。最終的には、学生が自分でドイツ語圏のインターネットにアクセスして、内容をあらかじめ把握できるようになることを目指します。

準備学習（予習・復習）：予習：次に進む課の文法説明に目を通しておく。／復習：宿題をしながら、授業で新しく学んだ単語および文法項目を整理しておく。

成績評価方法：期末試験（中間試験も含める）（90%）、授業への取り組み（10%）で総合評価する。

教科書：プリントを配布します。

参考書：1年次に使用した教科書と独和辞典を持ってくること。

その他：履修者は、既に「ドイツ語基礎」（1単位）を取得した者に限る

B組 岩井 智子

前期からひきつづき、後期も同じ教科書の後半7課から12課まで講読していきます。時間があればプリントで理系の文章も読みながら独文解釈を進め、やや複雑な文の構造にも慣れていきましょう。読む・聞く・書く能力を総合的に高めていき、後期修了時には、ドイツ語検定4級あるいは3級を取得できる実力をつけ、辞書さえあれば文章を読んでいける読解力を獲得することを目指します。

準備学習（予習・復習）：わからない単語は辞書で調べ、練習問題はあらかじめ自分でやってから授業に臨むこと。

成績評価方法：期末試験（80%あるいはそれ以上）、小テスト（20%あるいはそれ以下）で評価する。

教科書：『ドイツ美術の旅』 荻野 蔵平 他 著（朝日出版社）

参考書：独和辞典（電子辞書可）、1年次に使用した文法の教科書は、手元に置いて参照できるようにしてください。

その他：履修者は、既に「ドイツ語基礎」（1単位）を取得した者に限る

C組 澤元 互

前期で教科書が終わらなければ、その続きから始めます。その後はプリント教材を使って、医学史、薬学史、医療文化など、その他さまざまな分野から選んだ多少複雑なドイツ語の文章を読み進め、語彙力を増やします。受講者のペースに合わせて進めますので、授業には常に参加し、練習や課題に取り組んでください。

準備学習（予習・復習）：予習：辞書で意味を調べて授業に臨んでください。／復習：最初は意味を感じながら音読し、だんだん速く音読できるようにしておいてください。

成績評価方法：原則として期末試験（100%）で判定します。

教科書：配布プリント

参考書：辞書（指定なし）は必ず用意してください。電子辞書可。

その他：履修者は、既に「ドイツ語基礎」（1単位）を取得した者に限る